

令和 元 年度
(平成30年度事業)

教育行政事務の管理及び執行の状況
に関する点検・評価報告書

赤平市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況等	1
1 教育委員会の会議開催状況	1
2 奨学資金貸付状況	4
3 教育費の決算状況	5
点検・評価について	6
1 点検・評価の目的	6
2 点検・評価の対象	6
3 点検・評価の視点、方法	6
◎点検・評価重点施策事業一覧	7
I 学校教育の充実	
① 学力向上対策	8
② 体力向上対策	9
③ フッ化物洗口	10
④ 安全安心な学校給食の提供	11
⑤ いじめ未然防止	12
⑥ 不登校への対応と未然防止	13
⑦ 特別支援教育	14
⑧ 小・中学校適正配置計画の推進	15
⑨ 高校通学費等助成	16
⑩ 奨学資金貸付金返還免除	17
⑪ ICT活用教育	18
⑫ 公設塾の開設	19
II 社会教育の推進	
① 青少年教育	20
② 出前講座	21
③ 社会教育施設等の充実	22
④ 文化財保護	23
⑤ 図書館の運営と読書活動	24
⑥ 体育、スポーツ活動	25
《資料》教育施設利用状況	26

はじめに

平成19年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

教育委員会の活動状況等

1 教育委員会の会議開催状況

【教育委員会委員】

平成31年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教育長	多 田 豊	平成24年10月1日	平成28年10月1日 ～令和元年9月30日
委員（職務代理者）	山 本 由美子	平成24年2月1日	平成28年2月1日 ～令和2年1月31日
委員	瓜 郁 夫	平成24年10月1日	平成28年10月1日 ～令和2年9月30日
委員	坪 谷 嗣 香	平成23年7月1日	平成27年7月1日 ～令和元年6月30日
委員	高 澤 司	平成28年4月1日	平成30年10月1日 ～令和4年9月30日

赤平市教育委員会の会議は、概ね月一度開催しております。教育長及び4名の教育委員が教育行政の基本方針、規則の制定・改廃などを審議しており、また、本市

の教育を取り巻く状況等の報告を受け、その問題点と対応などについても協議しております。

開催日	付議案件等
平成30年4月26日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>報告第2号 教育委員会企画員の委嘱について</p> <p>報告第3号 赤平市立学校評議員の委嘱について</p> <p>報告第4号 赤平市立学校評議員の委嘱について</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設条例の制定に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 赤平市立学校管理規則の一部改正について</p> <p>議案第3号 赤平市学校職員服務規程の一部改正について</p> <p>議案第4号 平成30年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について</p>
平成30年5月28日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成30年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 赤平市立学校設置条例の一部改正に係る意見の申出について</p> <p>議案第3号 赤平市炭鉱遺産施設ガイダンス施設条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第4号 平成30年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について</p>
平成30年6月29日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成30年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について</p>
平成30年7月26日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p>

開催日	付議案件等
平成30年8月28日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成30年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 平成30年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p> <p>議案第3号 平成31年度使用中学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択について</p> <p>議案第4号 平成31年度使用小学校教科用図書（「特別の教科 道徳」を除く）の採択について</p>
平成30年9月28日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>報告第2号 赤平市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱に</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成30年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について</p> <p>議案第2号 赤平市いじめ対策基本方針の改定について</p>
平成30年10月30日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について</p>
平成30年11月30日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p> <p>【議案】</p> <p>議案第1号 平成30年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について</p> <p>議案第2号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について</p>
平成30年12月26日	<p>【報告】</p> <p>報告第1号 教育長報告</p>

開 催 日	付 議 案 件 等
平成31年1月31日	【報告】 報告第1号 教育長報告
平成31年2月22日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 平成30年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について 議案第2号 平成31年度赤平市一般会計予算に係る意見の申出について 議案第3号 赤平市幼稚園条例の一部改正に係る意見の申出について 議案第4号 赤平市幼稚園条例施行規則の一部改正について 議案第5号 赤平市立幼稚園預かり保育の実施に関する規則の一部改正について
平成31年3月8日	【議案】 議案第1号 市内小・中学校教職員の任免について
平成31年3月29日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 事務局職員の任免について 議案第2号 赤平市学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について 議案第3号 平成31年度赤平市体力向上プランについて

2 赤平市人材育成・定住促進奨学金貸付状況

赤平市に定住を志向する有為な人材の育成及び確保を目的とし、優良な生徒・学生であって経済的な理由により修学が困難な者に、学業に必要な資金（奨学金）を貸与する。

【平成30年度 該当者～31名】 申請者12名 継続19名
(貸付決定12名, 貸付不可0名)

3 教育費の決算状況

平成30年度教育費決算総額は20億3,232万6,619円で、一般会計に占める教育費の割合は18.8%となっております。これは統合中学校建設工事に関する大規模な事業が行われたため、昨年度の割合とほぼ同じとなっております。

また、各項別の支出額と教育費に占める割合は次のとおりです。

款	項	支出額	割合
教育費		2,032,326,619 円	100.0%
	1. 教育総務費	95,625,398 円	4.7%
	2. 幼稚園費	15,377,582 円	0.8%
	3. 小学校費	78,446,105 円	3.9%
	4. 中学校費	1,637,051,010 円	80.5%
	5. 社会教育費	91,139,239 円	4.4%
	6. 保健体育費	45,770,644 円	2.2%
	7. 学校給食費	68,916,641 円	3.4%

点検・評価について

1 点検・評価の目的

教育委員会では、法に基づく点検及び評価を行い、市民の皆様にも、教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明責任を果たすとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ることを目的とします。

2 点検・評価の対象

令和元年度の点検・評価対象は、平成30年度教育行政執行方針に掲げている、教育行政が目指す基本的な取り組みを行うための重点施策事業としました。

◎点検・評価重点施策事業一覧（7ページ）のとおり

3 点検・評価の視点、方法

教育委員会では、この事業について、達成度・効果度の観点から、4段階（※下記評価基準A）により点検・評価し、課題・改善策など今後の取組も併せて、5段階の総合評価（※下記評価基準B）を行い、「教育行政事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。

※評価基準A

評価記号	評価	評価基準
A	順調	<ul style="list-style-type: none"> 効果的で優れた取組を行った 目標の達成に向け大きな成果をあげた 事務事業として大きな成果をあげた 問題点や課題がない
B	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な取組を行った 目標の達成に向けて一定の成果をあげた 事務事業として一定の成果をあげた 大きな問題点や課題がない
C	見直し・改善	<ul style="list-style-type: none"> 取組を行った 目標の達成に向けて多少の成果をあげた 事務事業として多少の成果をあげた 問題点や課題がある
D	休止・廃止の検討	<ul style="list-style-type: none"> 取組を行わなかった 目標の達成に向けて成果があがらなかった 事務事業として成果はあがらなかった 大きな問題点や課題が残った

※評価基準B

評価記号	総合評価
①	拡 充
②	継 続
③	一 部 改 善
④	大 幅 改 善
⑤	休 止 ・ 廃 止

また、教育委員会が行った活動状況や施策・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から、点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

◎点検・評価重点施策事業一覧

大項目	所管	点検・評価重点施策事業	達成度	効果度	総合評価
学校教育の充実	学校教育課	1 学力向上対策	C	B	①
		2 体力向上対策	C	B	①
		3 フッ化物洗口	B	A	②
		4 安全安心な学校給食の提供	A	A	②
		5 いじめ未然防止	B	B	②
		6 不登校への対応と未然防止	C	B	②
		7 特別支援教育	B	A	①
		8 小・中学校適正配置計画の推進	B	B	②
		9 高校通学費等助成	A	A	②
		10 奨学資金貸付金返還金免除	B	B	②
		11 ICT活用教育	A	B	②
		12 公設塾の開設	B	A	②
社会教育の推進	社会教育課	13 青少年教育	B	A	②
		14 出前講座	B	B	②
		15 社会教育施設等の充実	B	B	②
		16 文化財保護	A	A	②
		17 図書館の運営と読書活動	B	B	②
		18 体育、スポーツ活動	B	B	②

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	学力向上対策			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 全国学力・学習状況調査における教科に関する全ての調査において、全国の平均正答率を目指す。		
	目的	知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等を身につけるため。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 全国学力・学習状況調査における調査結果について、小学校理科で全国平均正答率を上回るも、他の教科は下回る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プランの作成、実施、住民周知 ○教職員の加配(道費)による少人数指導の実施(赤間小) ○標準学力検査、知能検査の実施と拡大 ○長期休業中、放課後における補充学習の実施 ○地域の学力支援事業(道が実施)活用による教職員研修、授業実践 ○ALTの増員 ○退職教員等外部人材活用事業(道費) 		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度	平成 28 年度
	標準学力, 知能検査 638 千円		標準学力, 知能検査 561 千円	標準学力, 知能検査 621 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが、小学校理科以外は全国平均を下回った。
効果度	B	各種施策の実施により、学習習慣や学力向上の機運は高まりつつある。
今後の取組		
課題	各種施策の実施により、市全体としての学力向上への機運は高まってきているが、結果に結びついていないのが現状。	
改善策	長期休業中や放課後における学生ボランティアや学習サポートを充実させるとともに、学習習慣、生活習慣を確立することが重要である。結果公表を通して、学力向上に対する児童・生徒、保護者等のさらなる意識改革を図る。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 最重要の課題であるため、更に拡充, 継続して各種施策に取り組む。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	体力向上対策			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 全国体力・運動能力, 運動習慣等調査における結果について, 全体として全国平均を目指す。		
	目的	教育委員会, 学校等が各児童生徒の体力や運動習慣, 生活習慣, 食習慣を把握し, 学校における体育・健康に関する指導を通して改善を図る。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 全国体力・運動能力, 運動習慣等調査における結果について, 一部平均を上回るが, 全体として全国平均を下回った。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの実施 ○一校一実践の奨励 ○体力向上の検討組織として体力向上委員会設置 ○体力向上プランの作成, 実施 ○体育専科教員の配置 		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度	平成 28 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが, 全体として全国平均を下回っている。
効果度	B	各種施策の実施とともに, 課題種目を授業に取り入れ, 一部の学年・種目において改善が見られる。
今後の取組		
課題	全国, 全道平均に届かない種目の改善。	
改善策	運動の楽しさや体力向上に向けた取組みを継続的に実施していく。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 最重要の課題であるため, 更に拡充, 継続して各種施策に取り組む。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	フッ化物洗口		
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 小学校の実施割合90%, 中学校実施割合80%	
	目的	児童・生徒のむし歯予防のため。	
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 小学校の実施割合94%, 中学校実施割合68%	
	内容	市内小・中学校でのフッ化物洗口(週1回)の実施 ・茂尻小 71名(実施割合 96%) ・豊里小 62名(実施割合 93%) ・赤間小 176名(実施割合 94%) ・赤平中 112名(実施割合 68%)	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	消耗品, 薬剤等 141 千円		平成 28 年度 消耗品, 薬剤等 207 千円
			175 千円

項目別点検評価 (* 評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	全学年で実施することとなった。目標値を下回るも、実施割合が85%で、ほぼ予定通り実施できている。
効果度	A	児童・生徒のむし歯予防に効果があると考えられる。
今後の取組		
課題	フッ化物洗口実施による効果等について、保護者等の理解が十分でない。	
改善策	フッ化物洗口実施による効果等を比較検証することは困難だが、有効性について周知に努める。	

総合評価 (* 評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 実施による有効性について周知を行いながら継続実施する。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校給食センター	
事業名称	安全安心な学校給食の提供			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、学校給食センターを設置し、児童・生徒に安全・安心な給食を提供する。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	○給食の提供 ・給食日数 190日 ・提供食数 111,247食(前年度119,298食) ・バイキング給食の提供(各学校年1回) ・蒸気ボイラの更新により安全管理の強化 ○地産地消 ・地元の食材使用率 15.90%(前年度19.04%)		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度	平成 28 年度
	学校給食センター費 68,917 千円		学校給食センター費 72,315 千円	学校給食センター費 33,467 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	衛生管理の強化をしながら、安心安全な学校給食を提供した。
効果度	A	地産地消を行いながら、おいしい給食の提供に努めた。
今後の取組		
課題	食材費の値上げにより、現在の給食単価での提供は困難になってきている。	
改善策	食材費の値上げを検討していかなければならないが、子育て支援、保護者負担の軽減の観点から、市の予算で1食あたり20円を負担している。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 地産地消を図りながら、安全安心な学校給食の提供を継続実施する。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	いじめ未然防止			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 いじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率が小中学校ともに100%を目指す。		
	目的	いじめは、どの学校でも、どの児童生徒にも起こりうるという認識のもと、いじめの問題を根本的に克服するためには、いじめの未然防止が最も大切であるため。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 いじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率が、小学校90.8%、中学校が84.1%		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートの実施による実態把握(年2回) ○「いじめ問題対策連絡協議会」の開催による関係機関の連携強化 ○「子ども会議」の開催による児童・生徒交流、事例発表 ○青少年センター専門指導員による学校訪問等 ○いじめチェックシートの配布 		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度	平成 28 年度
	委員報酬 39 千円		14 千円	13 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	各種施策を実施し、「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率は、小学校で3.3%、中学校で6.7%昨年より上回った。
効果度	B	いじめアンケートから早期発見、解消に努め、家庭に対するチェックシートの配布による周知を図った。「いじめ問題対策連絡協議会」の開催により、関係機関の連携、情報共有等が図られた。
今後の取組		
課題	「いじめは絶対に許されない」ということが十分認識されていない。	
改善策	継続して取り組み、学校、いじめに関する会議を通して理解を促す。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 重要課題であるため継続して取り組む。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	不登校への対応と未然防止			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 不登校生徒への適切な対応や未然防止策により、不登校生徒割合を前年度と比較して改善させる。		
	目的	生徒の不登校・問題行動等の未然防止や早期発見・早期対応を図るとともに、取り巻く環境への働きかけなど、関係機関と連携しながら問題解決にあたる。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 不登校生徒7名(前年度4名)		
	内容	○北海道派遣のスクールカウンセラー1名(道費124時間・市費94時間)による相談業務 ○青少年センター専門指導員による学校訪問等 ○関係機関等の連絡、調整及びケース会議開催 ○適応指導教室へ入室(滝川市)		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度	平成 28 年度
	463 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	関係機関等と対応・対策を講じたが、人数は増加した。
効果度	B	各関係機関との連携・情報共有を密にすることができた。
今後の取組		
課題	不登校, 問題行動の早期発見, 早期対応に向けた取組について、一層の充実が必要。	
改善策	学校と家庭, 関係機関との連絡を活発に行い, 支援体制の整備・充実を図る。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 重要課題であるため継続して取り組む。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	特別支援教育			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	特別支援教育は、それぞれの児童生徒の状況に応じた学習環境の設定やきめ細やかな対応が必要であり、教員等の配置により学習・学校生活面の支援を行い、円滑な学校教育活動の遂行を図る。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○各小・中学校に特別支援教育支援員を配置できた。 ○教育支援委員会の開催(3回) ○就学相談, 就学指導 ○通級指導教室 		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度	平成 28 年度
	7,612 千円		5,891 千円	4,812 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	各小中学校に特別支援教育支援員を配置し、学習活動上のサポートを行う。
効果度	A	支援員の配置により、各種の学習・学校生活面の支援に効果があった。
今後の取組		
課題	発達障害児が増加傾向にあるため、就学時健診や就学指導の段階で、保護者理解も含め適切な指導が必要になってきている。	
改善策	就学相談の体制づくりなど検討する必要がある。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 重要課題の一つであるため、専門機関の受診や相談などの拡充が求められる。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課総務係
事業名称	小・中学校適正配置計画の推進		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	中学校の平成30年4月統合, 2学期からの新校舎への移転を目指し, 建築工事や備品搬入, 学校間協議等の準備を円滑に進める。 赤平中学校跡地での小学校校舎新築, 令和4年4月統合を目指し, 統合準備委員会や基本設計などでの準備を円滑に進める。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	○統合中学校建設工事関係 1,580,304千円 (工事監理6,984千円, 建設工事1,543,950千円, 備品購入29,370千円) ○統合小学校建設工事関係 31,968千円 (基本構想・基本設計19,224千円, 用地現況測量・地質調査8,532千円, 旧赤平中学校解体工事実施設計4,212千円) ○小学校統合準備委員会(7回) ○小学校統合準備委員会だより発行(3回)	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	1,612,272 千円		平成 28 年度
			1,347,774 千円
			300,910 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	中学校については, 予定どおり工事及び引越し作業を完了した。小学校については3小学校PTA合意を受け, 統合準備委員会を立ち上げての課題協議に着手した。
効果度	B	統合中学校の環境整備を図り, 教育環境の向上に寄与した。3小学校を統合する方針の下, 諸課題の協議を進めることができた。
今後の取組		
課題	小学校統合を円滑に進めるため, 統合準備委員会等での協議・検討を進めるとともに, 令和4年度の新築統合に支障をきたすことのないよう, 実施設計, 建設工事, 備品選定等を進めていく必要がある。	
改善策	統合準備委員会等での協議や設計等業務を遅滞なく遂行していく。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 市内1校ずつとなる小・中学校に必要なとされる環境整備が完了するまでの間, 赤平市の学校教育の充実を本旨とした小・中学校適正配置計画の推進を継続する。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	高校通学費等助成		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	高等学校等に就学している生徒の通学費等の一部を助成するための支援金(月額5,000円)を保護者に交付し,その負担軽減を図る。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	○生徒1人につき月額5,000円を原則四半期ごとに交付 ・支給人数 221人 ・支給総額 12,775,000円	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	12,775 千円		平成 28 年度
			12,655 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	事業開始から3年目となるが,円滑に執行できた。
効果度	A	高校等に通学する生徒の保護者の負担軽減に寄与した。
今後の取組		
課題	他の子育て支援施策とともに定住促進等にどの程度効果があるか,その検証を行う必要がある。	
改善策	なし	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 平成28年度からの新規事業であるため,当面同じ内容で継続する。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課総務係	
事業名称	奨学資金貸付金返還金免除(人材育成・定住促進奨学金)			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	高校・大学等を卒業後、赤平市に居住し就労する方の奨学資金の返還を免除することにより、市内企業への就職、定住を促進することを目的とする。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	<p>平成28年度新設の「赤平市人材育成・定住促進奨学金」に規定を設け、卒業後1年を経過した際の居住・就労状況により、返還金を免除する。</p> <p>○人材育成・定住促進奨学金の貸与 ・貸与31名(高校5名, 専門学校8名, 短大1名, 大学17名), うち新規12名 ・貸与金額(高校・高専は月額2万円以内, 専門学校・大学等は月額4万円以内) ○免除の要件～市内居住市内就労で全額・市内居住市外就労で半額免除 ○平成30年度から始まった返還の対象者は2名。うち、返還免除(全額)1名。 ○周知徹底のため、高校生のいる全世帯に本事業のお知らせを配布した。</p>		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	*参考	平成 29 年度	平成 28 年度
	※返還初年度 貸与額 12,580 千円 (返還免除額80千円)		貸与額 10,080 千円	※貸付初年度 貸与額 6,840 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	制度周知が徐々に図られ、利用者は増加傾向(28年度17名、29年度25名、30年度31名)。
効果度	B	赤平市に定住を指向する学生の学資金に対し援助できた。
今後の取組		
課題	返還免除の割合等の実績から、本事業が市内定住促進にどの程度寄与するものであるかを検証する必要がある。平成30年度に返還が開始となり対象者も数名にとどまることから、検証は今後の課題とする。	
改善策	効果・検証の状況によっては、制度の見直しを図る必要がある。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 平成28年度からの新規事業であり、返還免除の開始は平成30年度からとなった。市内定住促進に対する効果の検証は今後の課題であること、利用者からは大変助かるとの声が多いことから、当面同じ内容で継続する。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	ICT活用教育			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	ICT機器を活用する情報能力を育み、学習の共有、学習意欲とともに思考力・判断力などの向上につなげる。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	タブレット端末等を導入し、校内研修もを行いながら、ICT機器を活用した授業等を展開した。 ○小学校用タブレット端末 5,444千円 (78台継続2,722千円, 教育支援ソフトリース713千円, 58台新規1,348千円, 教育支援ソフト購入661千円) ○中学校用タブレット端末40台リース 949千円		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度	平成 28 年度
	6,393 千円		3,149 千円	1,545 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	H29年度に各小学校1クラス分のタブレット端末リースを開始したが、H30年度は小学校の台数を増やすとともに、統合を契機とし、中学校での1クラス分のタブレット端末リースを開始した。
効果度	B	タブレット端末について、小学校では配置が充実したこともあり、学習活動等において日常的に利用されている。中学校は年度途中での導入ということもあり、徐々に使われている段階。
今後の取組		
課題	小・中学校でそれぞれ1クラス分のタブレット端末配置を完了したが、リースの継続に毎年度6,880千円の支出を要する。また、耐用年数が5年程度とされていることから、効率的に更新していくことも課題となる。	
改善策	これまで配置してきたタブレット端末のリース継続を基本に、各小・中学校でのニーズを把握しながら、必要となる台数を確保していく。また、小学校統合や児童・生徒数の推移も考慮した配置計画を策定する。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 学校教育の充実にあって、ICT環境整備の推進は必然かつ効果的な方策であることから、継続して取り組む。また、相当な経費をかけて導入された機器が継続的に使用されるよう、教職員への研修機会の確保やサポート体制の向上に努める。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	公設塾の開設		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	市内の小中学生を対象に、学力向上並びに学校以外での学習習慣の定着化を目的とする。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	○小学生 114名 週2時間 子ども塾講師謝礼 658,800円 子ども塾用テキスト 92,521円 ○中学生 32名 隔週50分(1・2年) 週50分(3年) 公設学習塾業務委託 972,000円	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	1,724 千円		平成 28 年度
			千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	初年度の事業であり、小学生34.4%、中学生19.6%の登録となった。
効果度	A	学習時間が伸び、学習習慣の定着が図られた。
今後の取組		
課題	市内外の民間塾へ通っている生徒の兼ね合いもあり、中学生の登録者が少なかった。	
改善策	開設期間の拡大や公設学習塾の教科を増やすなどして、中学生の登録者の増加を図る。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 学習への意欲喚起と学習習慣の定着のため継続して取り組む。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会教育係
事業名称	青少年教育		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	青少年教育の振興、健全育成や非行防止にかかる活動を助長するため、青少年育成事業を実施するとともに、各地区交流の推進やリーダー養成などを通じ児童・生徒の体験活動等を支援・奨励する。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	<p>○青少年育成健全事業の実施 夏季スポーツ大会(中止)・冬季スポーツ大会(43名)・かるた会(25名)・子ども冬あそび事業(60名)</p> <p>○ふるさと少年教室の開講 計5回(延べ92名)</p> <p>○あかびら子どもまつりの実施 子ども237名、大人154名参加。出店した「村」の数は7村。</p>	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	53 千円		平成 28 年度
			251 千円
			17 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	一部事業が中止となったが、概ね順調に事業を実施できた。
効果度	A	参加した子どもたちや指導者については、実践・交流などを通じ意義が伝わった。
今後の取組		
課題	参加児童は年度ごとに増減がある、また、地域によって育成会活動が停滞している。	
改善策	育成会組織の活性化のため、学校や地域との連携などを図る必要がある。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 気軽に参加できる体制を構築し、継続して事業を実施する。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会教育係
事業名称	出前講座		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	子どもから高齢者まで幅広く、また気軽に学習できることを目的に、一定の人数の市民に対し、出張講座(出前講座)を実施し、生涯学習社会の実現を図る。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 ・出前講座数 46講座 ・受講者数 21件 566名(29年度13件 296名)	
	内容	主な講座の受講者数等 ・炭鉱遺産を訪ねて 7件 186人 ・消防署見学 3件 55人	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	0 千円		平成 28 年度
			0 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	ガイダンス施設が開設され炭鉱遺産を訪ねての回数が増えたため、前年度実績を上回った。
効果度	B	様々な学習を通して知識の向上を図ることができた。
今後の取組		
課題	小中学校の学習や町内会や市内グループの研修として利用されているため、学校の授業やその他研修の多い年等により受講者数が左右される。	
改善策	その他の学習活動等での利用や団体等の利用のさらなる促進のため、市民のニーズに合わせた講座の見直しや、周知方法を検討する。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 生涯学習社会の実現を図るため継続して事業を実施する。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課
事業名称	社会教育施設等の充実		
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入	
	目的	【東公民館】時代のニーズに合わせた多種多様な学習の場を設けることで、市民の交流の機会を増やし文化の浸透を促す。	
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 各施設の利用状況等～巻末資料のとおり	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数 7,051人(H29 8,311人) ・使用料収入 312千円 ・公民館講座 9講座 延べ142人受講 ・まちなか公民館講座 8講座 延べ204人受講 	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	6,091 千円		平成 28 年度
			6,164 千円
			5,362 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	概ね当初の予定通り実施できた。
効果度	B	利用者が減少傾向にあるが、概ね有効に利用されている。
今後の取組		
課題	市民の高齢化が進み、新たな利用者の増加が伸び悩むほか、固定された利用者についても年々減少傾向にあるため、利用者の確保が困難である。	
改善策	NPO市民活動支援センターをはじめ、各種団体などと連携を図りながら、型にとらわれず、多くの方が興味を示し、気軽に参加いただける講座を開設するよう努める。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 今後も講座の質の向上を目指し、利用者の維持・増加に努めていく。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課文化財保護係
事業名称	文化財保護		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 ガイダンス施設来館者数 5,000人	
	目的	・地域の歴史・文化を物語る郷土資料を保存・活用し、教育や郷土理解に資するほか、郷土資料の中で特に価値の高いものを文化財として保護していく。 ・炭鉱遺産ガイダンス施設を適切に運営し、多くの方々に見学や学習を通して炭鉱遺産の体験および地域の歴史に対する理解を深めてもらう。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 ガイダンス施設来館者数 7,708人	
	内容	○文化財保護委員会議(年1回,平成31年3月26日,委員3名出席) ・文化財保護事業報告 ○郷土資料の保護・普及 ○指定文化財の保護管理 ○埋蔵文化財包蔵地の保護～文化財パトロール,工事立会等により確認 ○炭鉱遺産の保存・管理 ・旧住友赤平炭鉱施設の保存・管理 ○炭鉱遺産ガイダンス施設の運営 ・炭鉱遺産の公開(ガイダンス施設 7,708名、ガイド参加 2,082名)	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	5,911 千円		平成 28 年度
			276,068 千円
			6,238 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	ガイダンス施設の開設を機に市外から多くの方が炭鉱遺産見学に訪れ、来館目標を大きく超えることが出来た。
効果度	A	郷土資料の活用・教育・普及について一定の効果を上げることができた。
今後の取組		
課題	・炭鉱遺産の文化財化について、適切な年次計画・方針を策定し進めていくことが課題である。 ・郷土資料の保存について、一元的に保管可能な施設の確保等課題が残る。	
改善策	・炭鉱遺産の中長期的な保存・活用方針について、文化庁や道教委の指導・助言を仰ぎながら、文化財化に向けた作業を進める必要がある。 ・郷土資料の保存について、収納施設の検討ほか、市の公共施設管理の方針を踏まえながら検討が必要。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 一定の成果を挙げていることから、更なる施策の展開に向けて今後も取り組みを展開する。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課図書館図書係
事業名称	図書館の運営と読書活動		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	市民の知的ニーズに応える公共図書館をめざし、図書館職員やボランティアなどの人材面でも、図書館運営のノウハウを蓄積させることで、地域に根ざした読書環境づくりに努める。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	<p>図書館は、限られた予算で市民の資料や情報の求めに応じ、資料の収集と提供、保存など基本的な業務の外に、次の読書推進事業を実施した。</p> <p>ブックスタート事業(絵本の配布)、読書感想文コンクール、家読(うちどく)啓発事業、図書館施設見学及び職場体験、移動図書館事業、特別貸出、団体貸出、子ども本の日(絵本の読み聞かせ)、古本フェスタ、おすすめ本の展示など</p> <p>○蔵書数 55,626冊(平成30年度末現在) (H30購入～一般図書1,150冊、児童図書814冊、計1,964冊)</p> <p>○会館日数及び利用者数 235日、4,543人(1日平均19.3人)</p> <p>○年間貸出冊数 21,659冊(1日平均92.1冊)</p>	
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度
	10,177 千円		平成 28 年度
			7,843 千円
			7,062 千円

項目別点検評価		
達成度	B	限られた予算で図書館資料やサービスの充実を図り、市民の求める資料情報が届くよう努めるとともに、各種の読書推進事業を実施し読書への感心を深めた。
効果度	B	人口減少や少子高齢化、インターネット、携帯電話の普及等、社会的な読書環境の変化の中、図書館を取り巻く環境は厳しいが、利用者数、貸出冊数ともにわずかではあるが増加した。
今後の取組		
課題	開館当時には予想もできなかったほど、図書館に求められる役割も大きく変化し、現在の図書館では利用者のニーズに対応したサービスの提供が困難な状況である。	
改善策	早急な対応は難しいと考え、新たな利用者の獲得、リピーターの増大を目指し、今後も継続して多様な資料を収集提供し、積極的に行事を開催する。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 財政面で、早急な対策は難しいと考える。

平成 30 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会体育係	
事業名称	体育, スポーツ活動			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 各事業の参加者が前年度実績を上回る。		
	目的	子どもからお年寄りまで, スポーツを通して, 心身ともに健康で豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツ社会の実現をめざす。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 前年度実績より増加～一般水泳教室、ミニバレーボール大会、軽スポーツ大会、ニュースポーツ大会 前年度実績より減少～こども体力測定会・走り方教室、市民スマイルウォーキング、こども水泳教室		
	内容	【スポーツ・レクリエーションスポーツ大会】 ・ミニバレーボール大会～参加者 51名(11チーム) ・軽スポーツ大会～参加者 25名 ・ニュースポーツ大会～参加者 16名 【スポーツ教室】 ・一般水泳教室～参加者 13名 ・こども水泳教室～参加者 14名 ・バレーボール教室～参加者 12名 ・こども野球教室～参加者 57名 【北翔大学との包括連携事業】 ・こども体力測定会・走り方教室～参加者 29名 ・市民スマイルウォーキング～参加者 32名		
事業費 (決算額)	平成 30 年度	* 参 考	平成 29 年度	平成 28 年度
	681 千円		619 千円	629 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	参加者数が前年度実績を上回った事業が増えた。
効果度	B	各種大会やスポーツ教室に参加された方からは, 概ね好評を博している。
今後の取組		
課題	年度ごとに増減はあるが少子高齢化に伴い, 参加者が減少傾向にある。	
改善策	体育協会他、関係団体と連携を図りながら, 各種大会等の参加者の増加と定着化に努める。また, 子どもたちを対象としたスポーツ教室等を実施し, スポーツの楽しさを体験してもらい, さらに技術の向上を図る。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 生涯スポーツ社会の実現のため、継続して事業を実施する。

《資料》

教育施設利用状況

【交流センターみらい】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	4,853	4,616	4,995	2,164	10,226	4,877	7,757	4,162	1,825	4,642	3,243	2,199	55,559	
	H 26	3,674	2,350	2,582	3,748	7,154	4,237	15,903	3,652	1,999	6,632	2,934	7,828	62,693	113%
	H 27	2,896	3,288	4,410	4,213	5,911	4,192	15,658	3,374	1,737	6,044	3,453	2,000	57,176	91%
	H 28	5,656	3,085	3,963	2,264	5,201	5,899	5,887	3,021	2,700	6,605	3,373	4,599	52,253	91%
	H 29	4,476	2,182	3,506	1,926	6,717	4,393	5,594	3,598	1,721	3,284	3,498	1,544	42,439	81%
	H 30	2,606	3,783	3,217	1,514	6,244	3,999	4,391	4,731	1,685	7,718	2,471	6,228	48,587	114%
使用料 (円)	H 25	234,145	159,980	237,630	152,115	223,755	155,060	202,530	289,950	171,840	270,345	190,870	603,165	2,891,385	
	H 26	127,415	177,250	153,220	171,240	151,115	103,960	237,445	242,250	219,740	191,935	178,985	597,190	2,551,745	88%
	H 27	230,320	204,445	219,125	195,375	145,690	116,790	231,890	259,945	214,505	265,965	170,865	613,055	2,867,970	112%
	H 28	140,685	240,585	235,675	136,635	118,510	223,970	230,070	240,610	311,940	185,225	187,600	682,270	2,933,775	102%
	H 29	153,840	153,650	131,030	121,740	133,280	155,985	224,125	227,995	179,970	319,665	146,460	468,170	2,415,910	82%
	H 30	182,830	239,515	102,475	112,205	167,310	66,310	181,665	234,765	150,965	274,475	156,720	492,485	2,361,720	98%

【東公民館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	806	700	804	895	932	674	921	1022	641	654	836	1,506	10,391	
	H 26	833	812	629	1012	918	901	1000	932	828	812	764	1,398	10,839	104%
	H 27	1,232	505	831	657	1,065	887	846	596	644	524	971	1,446	10,204	94%
	H 28	676	755	696	745	1,050	661	576	694	446	367	995	1,036	8,697	85%
	H 29	685	495	596	798	657	744	794	629	426	397	1,004	1,086	8,311	81%
	H 30	571	513	585	702	645	624	616	623	409	305	900	558	7,051	85%
使用料 (円)	H 25	51,724	41,035	32,533	25,165	29,763	39,050	68,650	54,538	68,204	52,520	51,189	58,442	572,813	
	H 26	44,620	38,460	49,375	31,835	34,595	26,119	57,640	41,937	69,780	41,708	67,294	62,917	566,280	99%
	H 27	18,828	45,678	30,435	18,450	24,475	23,564	46,348	34,712	59,136	36,153	52,958	53,662	444,399	78%
	H 28	7,882	38,190	25,500	21,840	33,014	24,089	32,752	35,624	43,524	30,429	36,086	54,638	383,568	86%
	H 29	22,420	29,735	23,110	32,080	15,125	28,194	37,276	36,400	37,908	26,774	39,492	37,682	366,196	82%
	H 30	20,354	28,660	30,250	18,200	21,845	18,379	36,794	24,714	28,197	24,848	25,632	34,976	312,849	85%

【図書館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	475	470	490	530	506	551	485	467	431	377	411	478	5,671	
	H 26	420	399	449	514	519	462	464	505	442	390	384	449	5,397	95%
	H 27	382	381	443	557	444	387	444	468	402	417	399	439	5,163	96%
	H 28	446	474	458	492	401	505	410	441	467	416	399	405	5,314	103%
	H 29	440	338	421	386	393	365	381	401	373	301	298	402	4,499	85%
	H 30	408	378	441	389	394	420	349	403	351	328	301	381	4,543	101%
貸出数 (冊)	H 25	1,903	1,866	1,780	2,064	1,948	2,039	1,907	2,053	2,192	1,605	1,700	2,034	23,091	
	H 26	1,694	1,675	1,752	2,040	2,156	1,931	1,873	2,196	1,911	1,633	1,652	1,964	22,477	97%
	H 27	1,761	1,622	1,748	2,090	1,829	1,694	1,856	1,928	1,827	1,921	1,810	1,840	21,926	98%
	H 28	2,060	2,060	2,082	1,991	1,918	2,018	1,727	2,007	2,259	1,763	1,798	1,958	23,641	108%
	H 29	2,155	1,669	2,023	1,760	1,819	1,729	1,761	1,873	1,910	1,487	1,480	1,849	21,515	91%
	H 30	1,946	1,789	1,840	1,858	1,794	1,906	1,719	1,893	1,795	1,697	1,536	1,886	21,659	101%

【総合体育館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	11,414	1,484	797	2,780	1,810	2,281	1,962	2,892	2,454	2,609	2,131	2,825	35,439	
	H 26	13,112	1,452	1,766	1,798	1,940	2,925	1,996	3,657	2,205	2,410	2,304	3,527	39,092	110%
	H 27	12,635	1,308	1,659	1,492	1,566	2,537	2,028	3,020	2,311	2,385	2,587	2,760	36,288	93%
	H 28	12,194	1,780	1,897	1,627	1,715	2,494	5,580	3,158	2,772	2,325	2,413	3,198	41,153	113%
	H 29	11,875	1,770	1,918	1,641	1,822	2,586	6,899	3,601	2,759	4,611	2,282	3,637	45,401	110%
	H 30	9,246	1,557	1,789	2,143	1,884	2,100	6,904	2,786	2,389	2,403	2,294	3,283	38,778	85%
使用料 (円)	H 25	79,444	90,160	52,540	92,045	87,200	189,240	98,790	105,059	115,923	142,558	139,912	183,468	1,376,339	
	H 26	105,804	98,180	83,730	87,490	92,160	167,480	109,110	416,062	157,184	144,934	156,722	196,096	1,814,952	132%
	H 27	82,574	72,110	106,250	90,770	70,120	314,690	123,430	166,223	215,238	154,356	172,704	210,442	1,778,907	98%
	H 28	104,238	104,885	97,100	82,780	82,100	353,310	162,890	187,774	206,418	148,332	155,974	150,696	1,836,497	103%
	H 29	97,904	104,450	92,870	76,380	88,120	203,800	203,260	209,196	148,210	183,734	141,230	203,832	1,752,986	95%
	H 30	61,394	436,324	96,710	42,650	104,320	225,230	108,940	162,706	104,336	162,976	156,292	191,324	1,853,202	106%

【市民プール】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25			2,121	3,422	3,061	1,110							9,714	
	H 26			1,826	2,909	2,574	1,200							8,509	88%
	H 27			1,707	3,292	2,681	977							8,657	102%
	H 28			1,499	3,177	2,723	844							8,243	95%
	H 29			1,746	3,200	2,307	547							7,800	90%
	H 30			1,391	2,693	2,132	619							6,835	88%
使用料 (円)	H 25			265,250	224,500	144,700	67,450							701,900	
	H 26			263,500	160,450	157,500	87,000							668,450	95%
	H 27			293,500	152,950	150,600	75,950	8,250					△2,000	679,250	102%
	H 28			227,500	188,550	165,350	45,300							626,700	92%
	H 29			218,950	170,450	133,100	38,550	3,050						564,100	90%
	H 30			249,700	101,050	162,400	47,500	7,050						567,700	101%

【虹ヶ丘球場】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25		439	830	390	695	340	320						3,014	
	H 26		136	772	253	213	338	130						1,842	61%
	H 27		471	548	697	168	116	105						2,105	114%
	H 28		820	158	301	235	683	273						2,470	117%
	H 29		398	647	282	685	431	320						2,763	112%
	H 30		497	685	313	338	255	78						2,166	78%
使用料 (円)	H 25		4,950	5,400	7,795	10,635	6,425	0						35,205	
	H 26		1,575	7,875	4,295	7,240	3,065	3,975						28,025	80%
	H 27		2,475	10,775	8,340	2,495	1,700	3,375						29,160	104%
	H 28		4,950	8,450	8,600	5,785	14,515	4,725						47,025	161%
	H 29		3,350	10,650	11,500	14,660	9,750	8,280						58,190	124%
	H 30		7,715	18,060	12,950	10,110	8,120	4,025						60,980	105%

【スポーツセンターテニスコート】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25		52	158	335	242	164	119						1,070	
	H 26		624	589	723	597	573	215						3,321	310%
	H 27		588	553	546	374	290	301						2,652	80%
	H 28		661	313	640	571	462	274						2,921	110%
	H 29		634	454	684	617	433	402						3,224	110%
	H 30		791	664	692	260	403	177						2,987	93%
使用料 (円)	H 25		11,850	6,750	15,150	7,950	4,350	3,450						49,500	
	H 26		18,900	17,100	10,200	7,500	20,850	10,050						84,600	171%
	H 27		16,950	32,100	10,650	25,950	14,700	14,100						114,450	135%
	H 28		27,450	15,450	18,600	16,200	46,200	20,250						144,150	126%
	H 29		48,900	10,650	13,350	28,350	30,300	17,100	4,050					152,700	106%
	H 30		54,000	21,150	8,100	11,250	15,600	12,900						123,000	81%

【パークゴルフ場（赤平）】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25		26	48	656	954	1,003	913						3,600	
	H 26		820	1,030	1,270	1,094	857	1,213						6,284	175%
	H 27		1,255	1,209	1,145	1,000	1,084	1,080						6,773	108%
	H 28		1,264	1,223	1,264	672	0	0						4,423	65%
	H 29		102	50	632	536	731	539						2,590	59%
	H 30		965	801	792	688	954	787						4,987	193%
使用料 (円)	H 25														
	H 26														
	H 27														
	H 28														
	H 29														
	H 30														

【炭鉱遺産ガイダンス施設】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H30 (有料)				462	268	379	553	143	91	24	65	97	2,082	
	(無料)				1,255	1,316	1,310	1,372	1,074	379	228	256	518	7,708	
使用料 (円)	H 30				262,100	180,200	255,100	383,600	87,900	43,600	13,100	25,900	69,800	1,321,300	

※利用者数のうち、上段は有料（ガイド料）のガイド付き見学参加者数。下段は、入館者数（無料）

※4月～6月は、施設開館前のためカウントしていない